

組合支援 ウォッチ

あつめて、つかって、 得するシール

協同組合ちくしのシール会は、平成元年9月に任意団体として発足した後、平成3年8月に現在の協同組合へ法人化した。組合設立当初の組合員は140名程いたが、現在は68名と半減している。

シール事業を廃止する組合もある中で積極的に活動を展開している組合を追った。

筑紫野市の木である椿のマークが入った「ちくしのシール」は、永く地元へ愛され続けているポイントシールである。二日市中央通り商店街を中心に筑紫野市及び近郊の様々な店舗が加盟している。

通常、100円（税別）のお買い物ごとにシールを1枚もらうことができ、それを台紙に450枚貼ると満点台紙として様々なものに引き換えることができる。中でも一番の人気は偶数月に行っている抽選会だそう。その他には、ソフトバンクホークスの公式戦観戦チケットやタクシーチケットへの交換、食事会などのイベントに利用される方も多いそうだ。

組合名に「シール」と付いているが、過去にポイントカードを導入した経緯もある。しかし、紆余曲折もあり現在はシール一筋とのことである。

昨年よりスマートフォン用アプリを開発・運用し、若年層の取り込みも行っている。このアプリでは、加盟店で買い物をするとシールとは別にスタンプが1週間に1個貯まる仕組みとなっており「10個貯まるとシール50枚」「20個貯まるとシール150枚」と交換してもらえるため、来店への動機づくりにも一役買っている。

アプリの利用者数は、既に420名を超えてお

り加盟店はアプリ利用者に対して売り出しなどのお知らせを発信することもできるため、加盟店の販売促進の一環にもなっている。

組合では、他にも偶数月に新聞への折込広告だけでなく、過去に満点台紙を利用した顧客に対して特典付きのバースデーメッセージを送付するなど、きめ細やかな対応も行っている。このような記念日特典なども地元の利用者にとっては嬉しいポイントである。

大手企業などでもポイントカードやメルマガ会員などを行っている中、シール会の活動は個人商店等にとって重要な販売促進ツールの一つでもあり、地域内消費を促す役割を担っている。

椿の花言葉に「控えめな素晴らしさ」とある。大手企業のようには大々的に行うことは難しいだろうが、地元へ密着した素晴らしいシール会としてこれからも頑張ってもらいたい。



折込広告



バースデーメッセージ



ちくしのシールアプリ

組合支援
ウォッチ

組合概要

組合名：協同組合ちくしのシール会
住 所：筑紫野市湯町3丁目2番5号
理事長：鹿島康生
T E L：092-922-5525
U R L：http://www.chikushinoseal.com